

平成29年度 学校案内



長野県松本深志高等学校

〒390-8603 長野県松本市蟻ヶ崎3-8-1

TEL 0263-32-0003

FAX 0263-37-1071

URL <http://www.nagano-c.ed.jp/fukasi/>

Email fukasi@nagano-c.ed.jp

自治の大旗翻し

本校は、明治9年の開校以来、幾多の変遷を重ねつつ、「自治」の精神をその基軸に据えて141年の歴史を今日まで刻んできた。なかでも初代校長小林有也先生が遺訓として残された以下の「御三訓」は、多感な青春の時を生きる深志生の心の支えとして今に伝えられている。このような精神的環境を通じて直向きな学びを修め、本校を巣立った多くの有為なる人材は、国の内外を問わず各界各方面で活躍している。



一、諸子はいくまでも精神的に勉強せよ

二、而して、大に身体の強健を計れ

三、決して現代の悪風潮に染み墮落するが如き事あるべからず

さて、本校正門を入ると、まず小林有也先生の胸像が来校者を優しく迎えてくれる。そして、独特のスクラッチタイルを身にまとい、昭和10年の落成当時の趣をそのまま残し、平成14年に国の登録有形文化財に指定された第1棟が、その荘厳な佇まいを見せて聳える。また、平成11年には、明るく近代的な第2棟・第3棟が完成し、恵まれた教育施設と環境の中で、全校生徒961名が、それぞれの自己実現に向けて互いに切磋琢磨しながら勉学に励み、生徒会活動や部活動を通じて心身を鍛えている。そして、地域の方々の期待に応え、真の学びを確実に社会還元できるよう、自治の気風を自ら実践しつつ、日々の高校生活を送っている。

沿革・教育方針

本校は、明治9年開智学校内に「第17番中学変則学校」として発足し、明治17年長野県中学校となる。初代校長は小林有也。明治32年長野・上田・飯田の支校が独立し、本校は長野県松本中学校となる。その後昭和10年に現在地に移転、23年に旧制中学校74年の歴史を閉じ、長野県松本深志高等学校として新しく発足した。



明治20年代、初代校長のもとで培われた自治の気風が本校教育の根幹となっている。「相談会」や「矯風会」は生徒の自治組織として今日の生徒会の基礎となった。本校の教育は、このような伝統の上に「自主的で確かな思考力とたくましい行動力を備えた心豊かな人間」という望ましい人間像の形成を目標として行われている。

教育課程の特色

- 広い分野で確かな学力を身に付けるために65分授業を実施している。
- 個性や関心、進路希望に応じて2年次から文系・理系の科目選択を行い、3年次には進路希望に応えるため大幅な科目選択を可能としている。
- 学習内容の増加に対応するため、土曜授業を実施し、授業時間を確保している。
- 土曜日授業の一部を活用して、新しい大学入試等への対応を行うことを検討している。

[平成29年度入学生教育課程]

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
1年	国語総合				世界史B 日本史B 地理B			現代社会		数学I				数学II		数学A		化学基礎		生物基礎		体育		保健		音楽書		コミュニケーション英語I		英語表現I		情報科学	総合的な学習		
2年	現代文B		古典B		数学II				数学B	世界史B 日本史B 地理B			地学基礎		地学基礎 探究		化学基礎 探究 生物基礎 探究		体育		保健		音楽書		コミュニケーション英語II			英語表現II		家庭基礎		情報科学	総合的な学習		
	現代文B		古典B		数学II				世界史B 日本史B 地理B			物理基礎、地学基礎 物理基礎探究、化学基礎探究 生物基礎探究、地学基礎探究				体育		保健		音楽書		コミュニケーション英語II			英語表現II		家庭基礎		情報科学	総合的な学習					
3年	現代文B		古典B		世界史B 日本史B 地理B 政治経済			世界史B 日本史B 地理B 政治経済			数学A		数学B		物理、化学 生物、地学 物基探究、化基探究 生基探究、地基探究			音楽II 美術II 書道II		コミュニケーション英語III			英語表現III		体育										
	現代文B		古典B		世界史B 日本史B 地理B 政治経済			数学III				数学A		数学B		物理、化学 生物、地学			物理、化学 生物、地学		コミュニケーション英語III			英語表現III		体育									

生徒の活動

本校に学ぶ生徒は、全人的人格形成のために、(1)まずHRの一員として成長段階を同じくする学友と切磋琢磨し、(2)生徒会を結成して学園の自治を進め、(3)自ら選んだクラブ活動に参加し、苦楽を共にすることによって横と縦との両面の絆によって結ばれ合い、(4)郷友会のメンバーとして地域を同じくするもののコミュニティを形成し、(5)應援団員として、校友の活動を応援援助している。

学年・ホームルーム

学年クラスマッチ、学年集会、文化祭への参加、合唱コンクール等は生徒自身の企画運営によって行われている。



生徒会

本部、専門委員会（厚生・図書・新聞・放送・校友誌・交通安全・とんぼ祭実行）、應援団管理委員会、合同協議会（学芸協議会・運動協議会・舞台装置設置委員会）、監査管理委員会（選挙管理・会計監査）によって構成され、日常活動・各種行事の企画運営を基礎に校風の昂揚に努めている。

学芸協議会

アカシア会 赤とんぼの会 アコギ部 映画研究会 英語研究会
演劇部 音楽部 化学会 華道部 香道部 棋道部 ゴーロア会
ギター部 茶道部 写真研究会 書道部 心理研究部 吹奏楽部
数学研究会 地学会 地歴会 哲学研究部 鉄道研究会
独語研究会 博物会 物理研究会 文学部 漫画研究会
落語研究会 Quiz 研究会 家庭生活愛好会 軽音楽部
ダンス部 SF 推理研究会 特撮ヒーロー研究会（同好会）



運動協議会

空手道部 弓道部 剣道部 硬式庭球部 サッカー部 山岳部
女子バスケット部 女子バレー部 水泳部 卓球部
ダブルダッチ部 男子バスケット部 男子バレー部
ソフトテニス部 バドミントン部 野球部 陸上競技部
フットサル部



平成 29 年度クラブ活動の主な実績（4 月～7 月）

<学芸協議会>

- 県大会出場 吹奏楽部 棋道部（将棋）
- 全国大会出場 棋道部（囲碁） 放送委員会（制作班）

<運動協議会>

- 県大会出場
弓道部・剣道部・硬式庭球部・山岳部・男子バスケット部・水泳部
卓球部・ソフトテニス部・野球部（ベスト 8）・陸上部
- 北信越大会出場
硬式庭球部（男子シングルス）
陸上部（男子 100m・200m・4×100m リレー／女子 100m）

郷友会

同一出身中学生徒の親睦会で、とんぼ祭時の灯籠制作などを行っている。



卒業生の動向（平成29年3月）

○卒業生数 356名（進学182名・就職0名・その他174名）

□現役生進学先（実数）

4年制大学 179名（国立114名・公立11名・私立54名）

短期大学 1名

専門学校 2名

○H29年度大学入試主な大学合格者数（現浪合計の延数）

□国立大（総計190）

北海道5 東北7 筑波8 群馬2 埼玉2 千葉10 お茶の水女子5 電気通信1 東京4
東京外国語2 東京芸術1 東京学芸8 東京工業4 東京農工2 一橋2 横浜国立6
新潟7 富山2 金沢11 山梨7 信州52 静岡1 名古屋12 名古屋工業1
京都8 京都工芸繊維1 大阪2 奈良女子2 広島1

□公立大（総計17）

茨城県立医療1 首都大東京3 長野県看護2 静岡県立1 岐阜薬科1 名古屋市立2
京都市立芸術1 兵庫県立1

□私立大（総計488）

青山学院7 北里4 慶應義塾10 上智6 中央15 津田塾2 東京理科23
日本12 法政28 明治30 立教12 早稲田21 同志社8 立命館29 近畿7

医学部医学科合格者数（現浪総計29名）

国公立大 18名 私立大 11名

納入諸経費（29年度入学生の例）

入学時のもの：入学金 5,650円 生徒会入会金・同窓会入会金・学習費等 73,000円

年間で納入：PTA会費 9,495円(年額) 生徒会費 5,000円(年額) クラブ遠征費 5,000円(年額)

その他 教材費・スキー教室費用等 69,000円

今後の授業公開の予定

□期日 10月14日（土）

□日程 1時限 8:40～9:45

2時限 9:55～11:00

3時限 11:10～12:15

□その他

- ・事前の申込みは不要です。
- ・当日は、卒業50周年OBによる特別講義が開催されます。（3時限目）

平成30年度入学者後期選抜

日程	志願受付期間	平成30年2月21日(水)～2月23日(金)正午まで
	志望変更受付期間	平成30年2月26日(月)～3月1日(木)正午まで
	学力検査	平成30年3月7日(水)
	合格発表	平成30年3月16日(金)

注) 本校では前期選抜(2/7実施)は行いません。